

平成17年度「鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会」会議録

日時：平成17年8月18日（木）

午後1時30分～2時45分

場所：総合福祉保健センター 4階会議室

委員：出席委員 中井委員 今井委員 井上委員 本田委員 和田委員
原田委員 湊保育課長 荻野学校教育課長

欠席委員 呉委員 小倉委員

事務局 岩佐健康管理課長 木暮補佐 鈴木健康係長
山田主査 西山主査 森谷主査 甲田保健師

傍聴者 なし

議題 (1) 「2005 かまがや福祉健康フェア」への参加について
(2) 「いきいきプラン・健康かまがや21」の推進について

会議内容：

1. 会長挨拶
2. 新委員紹介・自己紹介
3. 議事

協議会設置要綱第6条により会長が進行

議題 (1) 「2005 かまがや福祉健康フェア」への参加について

(事務局) 別添資料 (P1～2) 説明

2003年から福祉と合同で行っている。市民の福祉や健康増進に対する意識向上を図ることを目的としている。

テーマは「“支えあい” きらり輝く心とこころ」で開催場所は総合福祉保健センター全館・市役所市民ホール・庁舎前駐車場で行う。

10時からオープニングセレモニーを行い、くす玉割やきらり鎌ヶ谷体操を行う予定。全体としては「いきいきプラン・健康かまがや21」の推進をテーマにする。会場及び内容・参加団体は別紙のとおり。

(議長) ご意見・ご質問がないようですので事務局案のとおり実行してよろしいか。

(委員) 異議なし。

議題 (2) 「いきいきプラン・健康かまがや21」の推進について

(事務局) 平成16年度の取り組みについて 別添資料 (P4～13) 説明

(議長) ただ今の件についてご意見・質問等お願いしたい。

(委員) 小・中学校に対して、食育を行っている。今月末は児童センターでも行う。中学校で行うようになったのは3年前から。昨年からは全中学5校で行うことができた。

(委員) 市民健康意識アンケート結果より欠食率は20・30代で多く、問題である。小さい時からの教育が大切で、食育として小・中学校で今後でも取り組んでいって欲しい。

(議長) ころ、たばこについては保健所の協力をもとに事業を展開されている部分もありますが、何かご意見がありますか。

(委員) 障がい者の場があることは良いこと。市で行っているダイケアクラブも今後も充実してほしい。また、プランの中にあるボランティアの育成についても推進してほしい。

相談体制として、育児不安・虐待・思春期相談・ひきこもり・中高年の自殺等の相談が多く、とっかかりとして市役所の相談窓口の充実に取り組んで欲しい。

たばこに関してはアンケートより中・高生の喫煙率が低いのは良いこと。大人になると喫煙率が上がってしまうので中学校からの教育が必要。妊婦の喫煙率が高いことは問題です。夫を含め母子健康手帳交付時、マタニティ教室での教育をして欲しい。

公共施設館内禁煙にしたことは子ども達も見ているので効果があると思う。子どもにもわかるよう表示する行政の姿勢が大切。

アンケートより禁煙したい人が多く医療機関も一緒に取り組んで欲しい。

(議長) 歯の健康についてはいかがでしょうか。

(委員) フッ化物洗口事業を充実させていきたい。

(議長) 糖尿病についてはいかがでしょうか。

(委員) 鎌ヶ谷市はきめ細かく取り組んでいる。教育・相談活動が充実している。

健康日本21が策定されても糖尿病の人が減らない。地域での取り組みで1人1人が意識し、問題意識をもって行動できれば良い。

(議長) 循環器は医師会代表の委員が欠席なので医師の立場として代わりに気づいた点を申し上げます。

高血圧・高脂血症・肥満は予防が大切で健康教育の充実が必要です。生活習慣病は普段の生活を気をつければ十分予防できるので今後も市民へ啓発してほしい。

がんについては早期発見が非常に大切です。がん検診は有効性について問題となっているが毎年行って欲しい。大腸がんの検査は便の潜血反応が出ていない人でもがんの人がみつかり、身内にがんの人がいる場合は1.7倍の確立になることから問診も重要である。

(議長) 母子保健のブックスタートについてはいかがですか。

(委員) ブックスタート事業については昨年から行っており、母親たちにとっても好評です。母と子が一緒というふれあいが大切なので協力して

いきたい。

- (議長) 思春期保健のアンケートは大変だったと思うが教育委員会での取り組みは？
- (委員) 保健や理科の授業の中で行っています。性教育、エイズ教育、薬物乱用教育は講演会を行っている学校あり、食育に関しては外部に行き学ぶ機会もあります。アンケートを行って自ら学ぶこともあります。学校保健発表会は各学校で実施となったが、それぞれ学んだことを発表しています。
- (委員) 思春期保健アンケートの結果をもとに学校保健を地域で支える体制を構築して欲しい。
基本健康診査の要医療者が医療機関に結びつくようにして欲しい。
また、精密検査未受診者を減らす方向で取り組んで欲しい。
- (委員) 栄養・食生活の分野で小学生の取り組みはよく聞くが、中学生は珍しいので取り組んだ内容を教えて欲しい。
- (委員) 中学生はヘルスサポーター事業として行っている。中学生は忙しいので各地区の推進員が学校に出向き説明にいき、各公民館で実施しており、市内全中学で行えた。
- (事務局) 中間評価に向けて別添資料 (P14～19) 説明。
今年度はプランの見直しの年となっており、評価が大切になってきます。その指標として市民意識・生活様式のアンケート調査を行いました。また、プランの中で力を入れている身体活動・運動に関しては50代・70代以上の市民に歩数調査を実施しました。これをもとに目標とつき合わせて達成度を評価していきたいと考えております。
- (議長) プランの推進については委員の皆様も積極的に参画して欲しいと思っております。
これをもちまして議事終了とします。

閉 会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成17年9月2日

氏名 和田 洋子
氏名 原田 紀子